

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 16 日 (2021.9.16)

【公開番号】特開 2021-65797 (P2021-65797A)

【公開日】令和 3 年 4 月 30 日 (2021.4.30)

【年通号数】公開・登録公報 2021-020

【出願番号】特願 2021-17537 (P2021-17537)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 3

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 6 日 (2021.8.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技盤に植設された遊技釘によって前記遊技領域を流下する遊技球の流下方向が変化可能に構成された遊技機において、

前記遊技領域内に打込まれた遊技球を開口部より受入可能とされた受入口と、

左右に延びていると共に上面を遊技球が転動可能なように左右のうちの一方が低い傾斜面を有した案内部材を遊技釘が植設される前記遊技盤の前面よりも前方の前記遊技領域内に突出可能な突出案内手段と、

を備え、

前記突出案内手段は、前記案内部材を前記案内部材の上面を遊技球が転動可能となる位置まで前記遊技領域内に突出させることで前記案内部材の上面と前記受入口の前記開口部を連通させ、前記案内部材の上面を転動する遊技球を前記受入口へ受け入れ可能とし、

前記案内部材が前記遊技領域内に突出させていない状態においては、前記受入口へ遊技球が受け入れられないように前記案内部材の上面と前記受入口の前記開口部が連通しないようにさせているとともに、前記開口部からの遊技球の受け入れを阻止するように前記開口部の前方に近接断路手段を位置させており、

前記近接断路手段は、前記案内部材の上面を転動する遊技球を上面から見た場合に遊技球の転動方向と直交する方向に前記案内部材の動作に合わせて動作するようにされているとともに、前記突出案内手段により前記案内部材が前記遊技領域内に突出され前記案内部材の上面を 2 つの遊技球が連なって転動している状態において前記案内部材の突出が終了した場合に前記受入口へ向かう 2 つの遊技球の間に割り込むように動作可能とされ、

前記開口部の開口径は遊技球が同時に 2 つ以上受け入れられない大きさとされ、

前記受入口の前記開口部より受け入れた遊技球を検出する検出部を遊技釘が植設される前記遊技盤の前面よりも前方に設けることで前記開口部より受け入れた遊技球を迅速に検出可能にさせており、

左右に延びていると共に前記案内部材の傾斜面の傾斜方向と相対する傾斜方向の傾斜面を有した固定柵部を前記案内部材よりも上流側に設けることで、前記固定柵部の上面を転動した遊技球が前記案内部材の上面を転動可能にしている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段 1：遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技盤に植設された遊技釘によって前記遊技領域を流下する遊技球の流下方向が変化可能に構成された遊技機において、

前記遊技領域内に打込まれた遊技球を開口部より受入可能とされた受入口と、

左右に延びていると共に上面を遊技球が転動可能なように左右のうちの一方が低い傾斜面を有した案内部材を遊技釘が植設される前記遊技盤の前面よりも前方の前記遊技領域内に突出可能な突出案内手段と、

を備え、

前記突出案内手段は、前記案内部材を前記案内部材の上面を遊技球が転動可能となる位置まで前記遊技領域内に突出させることで前記案内部材の上面と前記受入口の前記開口部を連通させ、前記案内部材の上面を転動する遊技球を前記受入口へ受け入れ可能とし、

前記案内部材が前記遊技領域内に突出させていない状態においては、前記受入口へ遊技球が受け入れられないように前記案内部材の上面と前記受入口の前記開口部が連通しないようにさせているとともに、前記開口部からの遊技球の受け入れを阻止するように前記開口部の前方に近接断路手段を位置させており、

前記近接断路手段は、前記案内部材の上面を転動する遊技球を上面から見た場合に遊技球の転動方向と直交する方向に前記案内部材の動作に合わせて動作するようにされているとともに、前記突出案内手段により前記案内部材が前記遊技領域内に突出され前記案内部材の上面を 2 つの遊技球が連なって転動している状態において前記案内部材の突出が終了した場合に前記受入口へ向かう 2 つの遊技球の間に割り込むように動作可能とされ、

前記開口部の開口径は遊技球が同時に 2 つ以上受け入れられない大きさとされ、

前記受入口の前記開口部より受け入れた遊技球を検出する検出部を遊技釘が植設される前記遊技盤の前面よりも前方に設けることで前記開口部より受け入れた遊技球を迅速に検出可能にさせており、

左右に延びていると共に前記案内部材の傾斜面の傾斜方向と相対する傾斜方向の傾斜面を有した固定柵部を前記案内部材よりも上流側に設けることで、前記固定柵部の上面を転動した遊技球が前記案内部材の上面を転動可能にしている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】